

第31回住まいのリフォームコンクール 国土交通大臣賞などの受賞決まる

このコンクールは、公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センターの主催により、住宅リフォームの普及促進とリフォームの水準向上を図ることを目的として、全国各地で施工された住宅リフォーム事例を募り、住まいとして優秀な事例について建築主（施主）や設計者・施工者を表彰し、これを消費者や事業者によく紹介するものです。

昭和60年度より毎年実施しており、今年度からは、これまでのリフォーム作品に加え、消費者の安心を高めたり、まちづくりと連携するなどの工夫や仕組み等を評価する「ビジネスモデル部門」を新設しました。

今年度は5月から募集を開始し、6月27日の応募締切までに、[作品部門]には575件、[ビジネスモデル部門]には18件の応募が寄せられました。

「住まいのリフォームコンクール審査委員会」（委員長：真鍋恒博東京理科大学名誉教授）による審査の結果、下記の特別賞5作品をはじめとする入賞33作品を選定し、また、入賞作品に関わった増改築相談員とマンションリフォームマネジャーに奨励賞を授与いたします。

表彰は、10月11日（土）に行われる住生活月間中央イベント合同記念式典（リーガロイヤルホテル広島（広島県広島市））において国土交通大臣賞の授与、また、10月30日（木）に当財団主催による表彰式（すまい・るホール（東京都文京区））を執り行います。入賞者への表彰状の授与に合わせて、特別賞作品の作品発表会、パネルディスカッションを開催いたします。

特別賞名	作品名及び応募者	所在地
国土交通大臣賞	【作品部門】 「越前の家」 梶浦博昭環境建築設計事務所	福井県 越前市
独立行政法人 住宅金融 支援機構理事長賞	【作品部門】 「高天井の4世代住宅」 住友不動産(株)	山口県 周南市
公益財団法人 住宅リフォーム ・紛争処理支援センター 理事長賞	【ビジネスモデル部門】 「既存住宅資産化リフォーム総合管理システムモデル」 (株)丸山工務店	東京都 江東区
一般社団法人 住宅リフォーム 推進協議会会長賞	【作品部門】 「老テナントビルを高齢者施設へ再生」 山本嘉寛建蓄設計事務所	奈良県 奈良市
分野別特別賞	【作品部門】 「オープンサニタリーの家」 (株)アポロ計画 リノベエステイト事業部	福岡県 福岡市

入賞作品は、10月11日（土）～12日（日）に、住生活月間中央イベント展示会場である広島県立広島産業会館（広島県広島市）において展示される他、全国各地で開催される住宅関連のフェアやセミナー等においても展示が行われる予定です。また、全ての入賞作品を掲載した冊子（入賞作品集）を11月に発刊する予定です。

<問い合わせ先>

公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター リフォーム情報部業務課 岡田、春名
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-7 九段センタービル3階
TEL:03-3261-4567 FAX:03-3261-9357 ホームページ <http://www.chord.or.jp>

第31回住まいのリフォームコンクール入賞者一覧

■特別賞■

通番	賞	タイトル	応募者	所在地(作品部門)、 対象エリア(ビジネス モデル部門)	所有・ 建方形式	構造
1	国土交通大臣賞 【作品部門】	越前の家	梶浦博昭環境建築設計事務所	福井県越前市	持家一戸建	在来木造
2	独立行政法人 住宅金融支 援機構理事長賞 【作品部門】	高天井の4世代住宅	住友不動産(株)	山口県周南市	持家一戸建	在来木造
3	公益財団法人 住宅リフォー ム・紛争処理支援センター 理事長賞 【ビジネスモデル部門】	既存住宅資産化リフォーム総合管理システムモデル	(株)丸山工務店	東京都江東区、江戸 川区、葛飾区、墨田 区	—	—
4	一般社団法人 住宅リフォー ム推進協議会会長賞 【作品部門】	老テナントビルを高齢者施設へ再生	山本嘉寛建築設計事務所	奈良県奈良市	賃貸共同建	鉄骨造
5	分野別特別賞 【作品部門】	オープンサニタリーの家	(株)アポロ計画リノベエステイト事業部	福岡県福岡市	持家共同建	鉄骨鉄筋コンクリート 造

【作品部門】

通番	賞	タイトル	応募者	所在地	所有・ 建方形式	構造
6	企画賞	珈琲を淹れて話そう ～地域に根付く憩いの場～	(株)OKUTA LOHAS Studio	神奈川県横浜市	持家一戸建	在来木造
7	企画賞	ペンシルビルのペントハウス	SOGO建築設計	東京都渋谷区	持家共同建	鉄骨鉄筋コンクリート 造
8	企画賞	光と風と雪の回廊	(株)土屋ホームトピア	福島県会津若松市	持家一戸建	在来木造
9	優秀賞	花園の家	アトリエ・プリコラージュ 一級建築士事務所	京都府京都市	持家一戸建	在来木造
10	優秀賞	癒しのリフォーム～熱帯魚のいるリビング	(有)一・番家工務店	埼玉県越谷市	持家一戸建	在来木造
11	優秀賞	ロンドンでの生活	イトーピアホーム(株)	東京都中野区	持家共同建	鉄筋コンクリート造
12	優秀賞	服を飾れるドレスルームのあるコンクリートアパートメ ント	AIRHOUSE DESIGN OFFICE	愛知県名古屋	持家共同建	鉄筋コンクリート造
13	優秀賞	TOKOZA ～家族が集う座のLDK～	(株)OKUTA LOHAS Studio	神奈川県川崎市	持家一戸建	在来木造
14	優秀賞	部屋の凹凸を利用した機能付ニッチで生活に潤いを	カガミ建築計画	東京都世田谷区	持家共同建	鉄筋コンクリート造
15	優秀賞	67万円で叶えた夢	喜多ハウジング(株)	石川県小松市	持家一戸建	在来木造
16	優秀賞	あまりの雑然さで来訪者を唖然とさせた家！	建築アトリエTreppen	沖縄県中頭郡西原町	持家一戸建	鉄筋コンクリート造
17	優秀賞	MIYAHARA-U	建築設計事務所 可児公一植美雪	広島県呉市	持家一戸建	鉄骨造
18	優秀賞	姫路の古民家 リフォーム	(株)コンパス建築工房	兵庫県神崎郡市川町	持家一戸建	在来木造
19	優秀賞	江田島の家 ～古民家リノベーション～	sunoma	広島県呉市	持家一戸建	在来木造
20	優秀賞	三世が集まる築130年の快適二世帯住宅	住友林業ホームテック(株)	栃木県矢板市	持家一戸建	在来木造
21	優秀賞	セキュリティ向上と高齢化対策にデザインという価値 を加えて	(株)大京アステージ	東京都江東区	持家共同建	鉄骨鉄筋コンクリート 造
22	優秀賞	お父様を囲む同居～次の二世帯まで。三世代で住 み継ぐ再生	(株)東急ホームズ	東京都板橋区	持家一戸建	在来木造
23	優秀賞	死蔵していた倉庫を、リノベーションで賃貸資産に再 生	(株)東急ホームズ	東京都荒川区	持家一戸建	在来木造
24	優秀賞	プライベートミュージアム	(株)ハウスドゥ	京都府京都市	持家一戸建	在来木造
25	優秀賞	理想の二世帯住宅を賃貸併用の自宅部分で無理なく 実現	パナホームリフォーム(株)	東京都中野区	持家一戸建	鉄骨系プレハブ
26	優秀賞	木漏れ日のワイドリビング ～緑豊かな戸建の雰 囲気を残し都心に住まう～	三井不動産リフォーム(株)	東京都文京区	持家共同建	鉄筋コンクリート造
27	優秀賞	採光・通風と防犯性能の一挙両得 ～都市型住宅で のセカンドライフの理想形～	三井不動産リフォーム(株)	東京都目黒区	持家一戸建	ツーバイフォー
28	優秀賞	K邸改修工事	(有)矢田義典建築設計事務所	愛知県名古屋	持家一戸建	在来木造
29	優秀賞	セカンドライフ ～安心・快適な住まい～	レオイ(株)	岐阜県高山市	持家一戸建	在来木造

【ビジネスモデル部門】

通番	賞	タイトル	応募者	対象エリア	所有・ 建方形式	構造
30	企画賞	北海道から発信するリノベーションの新しいしくみ～ 北海道R住宅システム	北海道R住宅事業者ネットワーク	北海道	—	—
31	企画賞	戸建てリノベーション事業「HOWS Renovation」	(株)リビタ	首都圏中心	—	—
32	優秀賞	総合省CO2改修ー外断熱改修等による高経年既存 共同住宅の再生	(株)長谷エリフォーム	首都圏及び関西圏	—	—
33	優秀賞	京だんらんプロジェクト(京町家のシェアハウス)	(株)八清	京都府京都市	—	—

※ 建築主(施主)の氏名については、公表していません。

※ 企画賞及び優秀賞は、応募者の五十音順です。

□ 第31回住まいのリフォームコンクール

特別賞入賞作品【作品部門】

■国土交通大臣賞

「越前の家」

応募者：梶浦博昭環境建築設計事務所



■独立行政法人 住宅金融支援機構理事長賞

「高天井の4世代住宅」

応募者：住友不動産（株）



■一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会会長賞
「老テナントビルを高齡者施設へ再生」

応募者：山本嘉寛建蓄設計事務所



■分野別特別賞

「オープンサニタリーの家」

応募者：(株)アポロ計画 リノベエステイト事業部



「第31回住まいのリフォームコンクール総評」

このコンクールも今年で第31回を迎え、これを節目に内容を一新して新たな時代のスタートを切った。具体的には、審査委員もほぼ全員が入れ替わる新体制になったほか、従来の審査部門は継続しつつも、「リフォームを実現する地域リフォーム推進体制」を評価する目的で「ビジネスモデル部門」が新設された。これまでの応募作品にも、建物の良さだけでなくビジネスの形態として特色のあるものがあつたのだが、そうした内容を評価する受け皿はなかった。さらに特別賞には、従来の4つの賞の他に、社会的意義の高い特徴が認められるものとして「分野別特別賞」が新設された。また優秀賞の中で、アイデアや技術などに特徴が見られる案には「企画賞」を授与することとなった。

今年度の応募状況は、作品部門では戸建住宅の応募件数に低減が見られたが、共同建ては昨年と変わらぬ応募数であり、部門全体では若干の減少となった。ビジネスモデル部門については、初回でもあり、評価内容について応募側にも審査側にも手探りの部分があつたことは否定できないが、結果的に18件という、初年度にしては多くの応募があつた。コンクール全体で見れば、応募数は若干の減少に留まつた。

地域分布は、関東の大都市圏が3割以上、それ以外の地域を加えると6割近くが都市圏のものであつた。人口分布から当然の傾向とはいえ、大都市圏以外からの応募比率がやや下降気味なのは残念である。地域に密着し、その地方の建築の特徴を生かすようなリフォームが、さらに活性化することを期待したい。

作品部門の傾向としては、応募者の種類の内訳比率に大きな変動はなかった。リフォーム内容については、修繕や内外装・設備機器の更新等にとどまらず、建物全体のイメージを一新する大規模なリフォームや、住まい手の個性を尊重した自由なプランングを実現する事例が多く見られた。特にマンションのリフォームでは、新築では汎用的なプラン以外は望むべくもないため、最初から中古住宅のリフォームを選択するユーザーが増えつつある印象である。築年数の長いマンションにおける高額リフォームについては、棟全体の耐震改修等の実施に際して抵抗要因になることを懸念する見方もあるが、新築に準じたものを安価で得るという位置づけではなく、リフォームでこそ実現可能な特性を生かした住居取得方法が、ユーザーに認識されつつあることを示していよう。

今回新設したビジネスモデル部門では、応募案の多くが地域に根差した地場産業タイプであつた。中でも特別賞に選ばれた事例は、まさに地域密着企業ならではのビジネスモデルの好例であり、この新企画の趣旨が十分理解されたと言えよう。ただし特別賞・優秀賞に選ばれた5件の中には、企業規模も実績も大きな企業が含まれており、応募案の1/3が、こうした大企業のものであつた。この部門は始まつたばかりであり、評価すべきビジネスモデルの内容については限定的に考えることなく、自由な発想で可能性が広がることを期待する。なお、この部門の応募書類については、参照すべき前例がまだ無いとは言え、中にはあまりにも説明不足な書類があつたことは否定できない。今後は次第にノウハウを蓄積し、アピール力のある応募書類になることを期待したい。

今回も多くの応募があつたことは喜ばしい事だが、プレゼンテーションが稚拙な応募案が未だに見られるのは残念である。ビジネスモデル部門については上記のとおりだが、作品部門の数百点におよぶ応募案の審査は、基本的にA3版の応募用紙1枚が規準となる。スペースの無駄、逆にぎつしり詰め込んだ小さな写真、リフォーム前の写真の欠落、写真撮影箇所の表示不十分、判読不能な図面等々、審査委員に十分な情報を伝達できない応募案は、残念ながら良い評価にはなりにくい。毎年発行されている入賞作品集などを参考に、設計内容が分かりやすく、応募案の魅力をうまくアピールできるプレゼンテーションを工夫されたい。

多くの関係者のおかげで、新体制のコンクールが実施できたことに、心より感謝する次第である。

第31回住まいのリフォームコンクールの概要

1. 主催 公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター
2. 後援 国土交通省／独立行政法人 住宅金融支援機構／
独立行政法人 都市再生機構／一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会
3. 協賛 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 他22団体
4. 目的 全国各地で施工された住宅リフォームの事例を募り、住まいとして優秀な事例について建築主(施主)・設計者・施工者を表彰し、これを消費者や事業者に広く紹介することにより、住宅リフォームの促進とその水準の向上を図る。
今年度より、これまでのリフォーム作品に加え、消費者の安心を高めたり、まちづくりと連携するなどの工夫や仕組み等を評価する「ビジネスモデル部門」を新設した。

5. 応募者要件及び対象

【作品部門】

応募者は、応募作品の住宅の建築主、設計者、施工者とし、平成24年7月から平成26年6月の応募締切までの間に、リフォーム工事が完了した住宅（国内にあるもの）を対象とする。

【ビジネスモデル部門】

応募者は、リフォーム推進体制を構築している事業者、事業グループ・団体とし、平成23年7月から平成26年6月の応募締切までの間にリフォーム工事を完了したものが複数あるものを対象とする。

6. 応募締切 平成26年6月27日
7. 応募件数 【作品部門】575件 【ビジネスモデル部門】18件
8. 入賞件数 特別賞（各1点、計5点）

（国土交通大臣賞／(独)住宅金融支援機構理事長賞／
(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞／
(一社)住宅リフォーム推進協議会会長賞／分野別特別賞

企画賞	5点	
優秀賞	23点	合計 33点
増改築相談員奨励賞		1名
マンションリフォームマネジャー奨励賞		5名

9. 審査委員 委員長 真鍋恒博 東京理科大学名誉教授 他11名
(添付資料－2参照)

10. 表彰式 平成26年10月30日(木) 13:00～

住宅金融支援機構「すまい・るホール」(東京都文京区後楽)

◇ 表彰式・特別賞受賞作品発表会 (13:00～15:00)

◇ パネルディスカッション (15:00～16:40)

～テーマ「安心・快適なリフォームを推進するために(仮)」～

審査委員会委員名簿

委員長	真鍋 恒博	東京理科大学 名誉教授
委員	林田 康孝	国土交通省住宅局住宅生産課 課長
〃	松村 収	独立行政法人住宅金融支援機構 CS推進部住宅技術情報室長
〃	秋元 孝之	芝浦工業大学工学部建築工学科 教授
〃	有田 芳子	主婦連合会 副会長
〃	池本 洋一	株式会社リクルート住まいカンパニー SUUMO編集長
〃	田村 誠邦	株式会社アークブレイン 代表取締役
〃	中野 晶子	一級建築士事務所本庄晶子建築設計室 主幹
〃	麓 幸子	日経BP社日経BPヒット総合研究所 所長
〃	丸茂みゆき	文化学園大学造形学部建築・インテリア学科 准教授
〃	森田 芳朗	東京工芸大学工学部建築学科 准教授
〃	後藤 隆之	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター 専務理事

(敬称略、所属・役職は平成26年8月現在(審査時点))

第31回住まいのリフォームコンクール 【作品部門】応募状況

応募総数 575点

1. 建方別

一戸建	417作品 (72.5%)
共同建	153作品 (26.6%)
連続建	5作品 (0.9%)

2. 工事費別

100万円未満	7作品 (1.2%)
100～300万円未満	24作品 (4.2%)
300～600万円未満	65作品 (11.3%)
600～1000万円未満	94作品 (16.3%)
1,000～2,000万円未満	215作品 (37.4%)
2,000～3,000万円未満	102作品 (17.7%)
3,000万円以上	67作品 (11.7%)
不明	1作品 (0.2%)

平均該当工事金額 1,635万円

3. 地域別

北海道	20作品 (3.5%)
東北	27作品 (4.7%)
関東	238作品 (41.4%)
中部	135作品 (23.5%)
近畿	102作品 (17.7%)
中国	21作品 (3.7%)
四国	10作品 (1.7%)
九州	21作品 (3.7%)
沖縄	1作品 (0.2%)